



今月のテーマ

ハンプトンの夏休み

インテリアコーディネーター、食空間プランナーで、日本クラブ・カルチャー講座の講師も務める大石育子さんに月替わりで食卓の演出術を教えてもらう連載第6回目のテーマは、マンハッタンから車で2時間、ロングアイランドの海沿いの町ハンプトンです。多くのセレブリティが別荘を構え、連日のようにパーティーが開かれることから「ニューヨーク社交界の避暑地」とも呼ばれています。

避暑地のテーブル、ハンプトン風

7月から9月のニューヨークはバケーションシーズン真っ盛り。街からニューヨーカーの姿が少なくなる季節です。では、みんなどこへ行くのかというと？ そう、ロングアイランドにあるビーチリゾート「ハンプトン」なのです。ニューヨーカーはシンプルに「ハンプトン」と言いますが、ハンプトンには大きく分けてサウスとイーストがあり、富裕層の避暑地として知られているのは、イーストハンプトン。街中がエレガントな雰囲気にも包まれた、ハンプトンで過ごす夏休みのテーブルを作ってみました。

NYセレブ御用達、ウォルファー・エステート・ビンヤード

ロングアイランドは、ニューヨークワインの3大産地の1つ。中でもセレブリティ御用達のワイナリーといえば、サウスハンプトンとイーストハンプトンの中間地点、サガボナックにある「ウォルファー・エステート・ビンヤード」です。設立は1988年。ドイツ仕込みの醸造技術と最新設備によるワイン造りに定評があり、特にロゼのレベルが高いことで有名です。毎年夏に限定販売される「Summer Edition」のロゼは売り切れになるほどの人気。最近はマンハッタンのワイン店でも見かけるようになりました。ちなみにロゼは日本ではあまり人気がないと聞きますが、ニューヨーカーの夏は断然ロゼ。この時期になると、ワイン店のディスプレイコーナーはロゼで埋め尽くされると言っても過言ではないほどです。www.wolffer.com



Let's Try!



ビーチスタイルのセンターピースを作りましょう。作り方は簡単。砂や貝殻を透明の花瓶や空き瓶に入れてその上に好きなものを飾り付けるだけ。お子さまと一緒に楽しく飾りつけできると思います。たったこれだけのことで室内が夏の雰囲気にも包まれますよ。

空き瓶の中に砂や貝殻を入れる場合、瓶の口の部分をロープや麻ひもで結ぶと、おしゃれに生まれ変わります。この夏、ビーチで拾った貝殻や石を中に飾っても、良い思い出になります。

【材料】

- ・透明の花瓶や空き瓶
- ・ビーチの砂や石
- ・貝殻など飾りたいもの数種類
- ・キャンドル
- ・麻ひも、太めのロープ
- ・お好みでラフィアや多肉植物の造花など

Let's Cook!

夏はやっぱり口当たりが良く涼感たっぷりのメニューをお出ししたいもの。野菜のゼリー寄せや冷製スープ(ガスパチョやヴィシソワーズなど)をアベタイザーに。アントレは冷たいパスタ、海老のカッペリーニなどがいいですね。



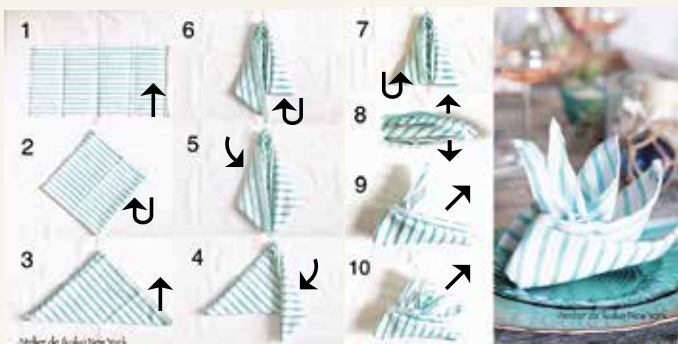
デザートには、爽やかな風味のレモンタルトやレモンムースはいかがでしょう。ペアリングにはもちろんロゼワインを。ミントをたっぷり入れたモヒートも用意しましょう。



今月のNapkinワーク「帆掛け船」

これ1つでテーブルが夏に生まれ変わります。張りのある素材、または紙ナプキンを使うと綺麗にできます。

- ① ナプキンを2つに折る。輪の部分を下にする
- ② さらに2つ折にする。角4枚が上に来るようにする
- ③ 対角線を三角に折り、角4枚が上に来るようにする
- ④ 三角の頂点から下に半分折り下げる
- ⑤ 反対側も同じように折る
- ⑥ 下側の右先端を後ろ側に折り込む
- ⑦ 左側も同じように後ろ側に折り込む
- ⑧ 三角の真ん中を山折りにする
- ⑨ 右端の4枚の布を1枚、上に引っ張り上げる
- ⑩ 残りの3枚の布も上に引っ張り上げて、4枚の帆を作って出来上がり



今月のOne Pointレッスン「ガラス素材を多用しよう！」

夏を演出するには透け感のあるものが効果的です。一番取り入れやすいのが、ガラスのお皿や置物、花瓶などを多用すること。それだけで涼しげで夏らしくなります。また、花よりも葉っぱを生けることで涼感が出せます。ハーブを育てている方は、コップに生けてテーブルに置くだけでアロマ効果抜群のセンターピースになりますよ。ガラスも透明なものだけでなく、コバルトやアクアマリン、ターコイズブルーなどの色ものも加えてみましょう。テーブルに動きが出るだけでなく、不思議と涼感もアップします。



大石育子

インテリアコーディネーター、食空間プランナー、英国式紅茶インストラクター。食空間プロジェクト(FSPJ)認定サロン、初級ディプロマ発行校 Atelier de Ikuko New York 主宰。「東京ドームテーブルウェア・フェスティバル2019」特別審査部門入選。日本クラブ・カルチャー講座講師、マンハッタン区在住。 <http://atelierdeikukony.amebaownd.com>